



▲いかだをこぐ子どもたち

高浜川を親子で遊覧！

いかだ下り

天草町の高浜川で8月11日、高浜橋から白鶴浜までの約2kmを下る、「いかだ下り」が行われました。高浜子ども会が実施したもので、地元の子どもや保護者など35人が参加しました。参加者は、5艇のいかだにそれぞれ乗リスタート。子どもたちは、いかだをうまく進めることができず苦戦していましたが、お父さんの力強いかじ取りと、お母さんの声援を受け、無事白鶴浜に到着しました。

交流をとおして復興支援

東松島夏祭り

8月24日、宮城県東松島市で開催された「東松島夏祭り2013」に、同市へ派遣されている市職員1人と市から職員3人が参加しました。東日本大震災の復旧・復興支援のために参加したもので、「がねあげ」や「ばんかんジュース」の販売を地元の市職員たちと協力して実施。「がねあげ」は好評で、来場者は、「はじめて食べました。素朴な甘みがありおいしいです」と話していました。

今回の売り上げは東松島市へ寄付。参加した市職員は、「今後も交流を行うことで、復興支援につなげていきたい」と話していました。



▲祭りのようす



▲「認知症の予防には、適度な運動を行うなど今から始めることが大事」と話す矢田部医師

認知症について学ぶ

認知症を考えるつどい

「天草市認知症を考えるつどい2013」が9月1日、栖本福祉会館で開かれ、約200人が参加しました。天草認知症家族の会代表の宮崎記代子さんによる介護体験発表や、あまくさ心認知症を地域で支える会が認知症に関する寸劇を披露したほか、市の認知症の現状と取り組みの報告などを実施。また、熊本大学医学部附属病院の矢田部裕介医師が、「認知症の予防を！～いつからはじめるの？今でしょ！」と題して講演。認知症の正しい理解や予防などについて話され、来場者は熱心に聞き入っていました。

天草にサンタクロースがやってきた

世界サンタクロース会議

9月8日、「第1回世界サンタクロース会議 in 天草」が本渡町の西の久保公園で開かれました。会議には「グリーンランド国際サンタクロース協会」に所属する世界各国の公認サンタクロース15人が参加。「天草はサンタクロースの聖地である」と決議しました。また、11月にスウェーデンで行われる「第10回サンタクロース・ウィンターゲーム」の日本代表選考会も実施され、市内外から34人が出場。煙突登りとお菓子の早食いを組み合わせたタイムレースやプレゼント袋の遠投などに挑戦。結果は若林泰子さん（広島市）が優勝しました。

このほか、地元の子どもたちなど約5,000人が来場し、公認サンタクロースとの記念撮影やゲームなどの交流も行われ、会場は多くの人でにぎわっていました。



▲会議を行う公認サンタクロース



▶プレゼント袋の遠投をする出場者



▲避難訓練を行う参加者

防災意識を高めるために

棚底地区地震・津波避難訓練

9月1日、倉岳町で「棚底地区地震・津波避難訓練」が行われ、市消防団倉岳方面隊や地区住民など約400人が参加しました。棚底地区振興会と同地区の各自主防災会が、地区住民の防災意識を高めるために開催したもので、訓練は、地震により津波災害が発生したとの想定で実施。避難・消火・救急法・炊き出し訓練などが行われ、参加者は万一の災害に備えて真剣に取り組んでいました。

8年ぶりの全国の舞台で健闘

ソフトボール・天草本渡クラブが全国大会に出場

ソフトボールクラブの天草本渡クラブ（岩口裕二監督）が、9月6～8日に島根県雲南市で開かれた「第28回全国壮年ソフトボール大会」に、県代表として8年ぶりに出場しました。大会には、各都道府県の予選を勝ち抜いた48チームが出場。結果は、1回戦で大阪府代表と対戦し惜しくも敗退。岩口監督は、「また来年に向けて練習をがんばりたい。部員（40歳以上の男性）も募集中です」と話していました。



▲参加した選手の皆さん